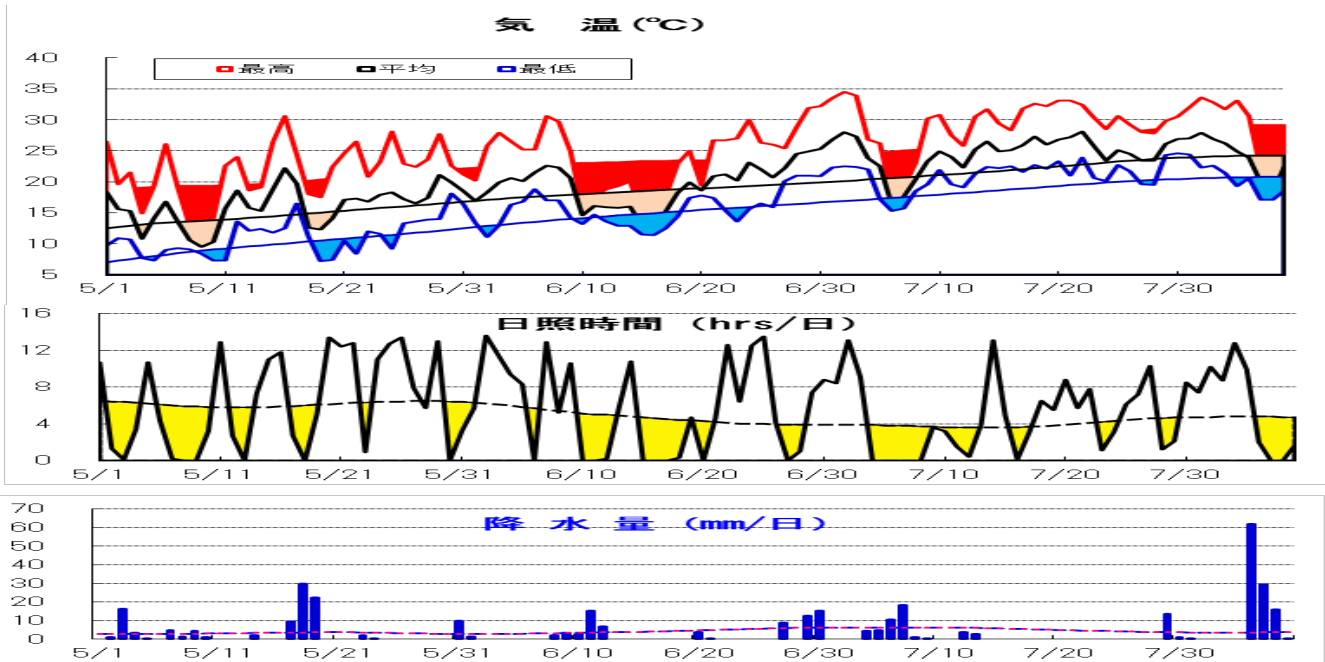


～高温は一息、出穂期は平年より4日早い、適期管理を！！～

1 気象経過 (古川・田植後)



- ・ 7月下旬まで高温多照傾向が継続 (最高 30℃平均 25℃)
- ・ 降水量は少なく渇水状況
- ・ 8月6日～数日平年を下回る気温

気温・日照の平年差比(℃)(時間%)

月旬	平均	最高	最低	日照時間	日較差
7月中旬	25.4	30.3	21.7	60.5	8.6
平年差・比	3.6	4.2	3.0	165%	1.2
7月下旬	25.5	30.2	22.0	60.5	8.2
平年差・比	2.2	2.2	2.0	124%	0
8月上旬	23.8	28.9	19.9	45.3	9.0
平年差・比	▲0.3	▲0.2	▲0.8	119%	1

2 出穂状況 [8月6日現在]

※出穂期は 平年より11日早い、7月21日 (平年8月1日)

県内の出穂状

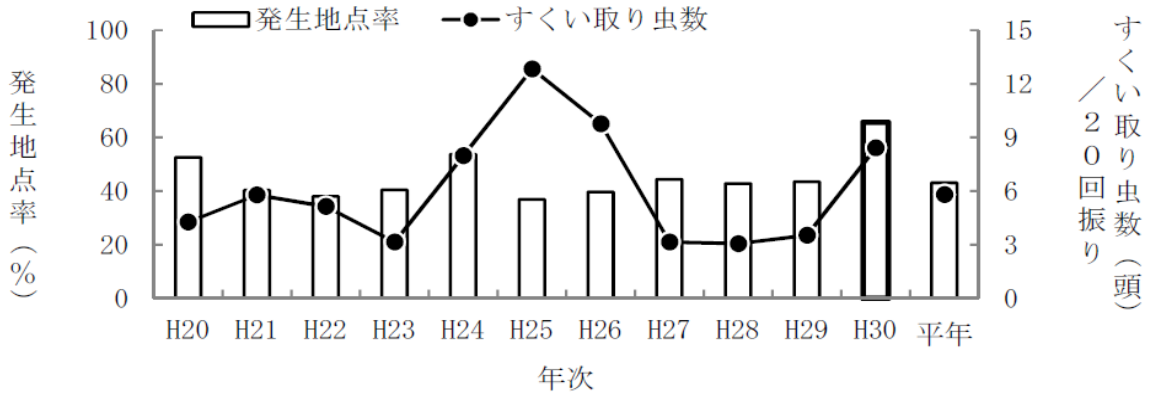
区分	出穂始期(5%)	出穂期(50%)	穂揃期(95%)
本年	7月28日	7月31日	—
前年	7月29日	8月1日	8月11日
平年	8月1日	8月4日	8月11日
平年差	4日早い	4日早い	—

地帯区分	水稲作付見込面積 (ha)	8月6日現在出穂状況	
		出穂面積 (ha)	進行率 (%)
山間高冷	976	580	59.4
西部丘陵	5,388	4,402	81.7
北部平坦	42,546	39,244	92.2
南部平坦	5,384	5,130	95.3
三陸沿岸	1,567	934	59.6
仙台湾沿岸	8,595	7,701	89.6
県計	64,455	57,991	90.0

3 今後の管理

(1) カメムシの防除

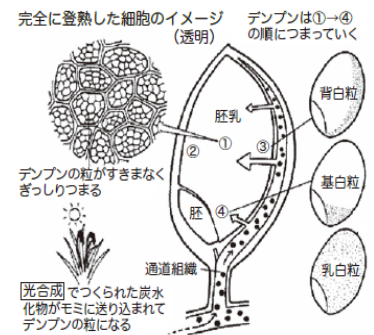
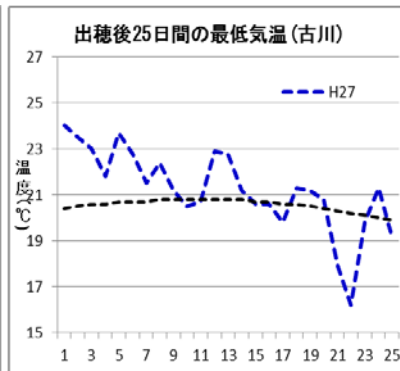
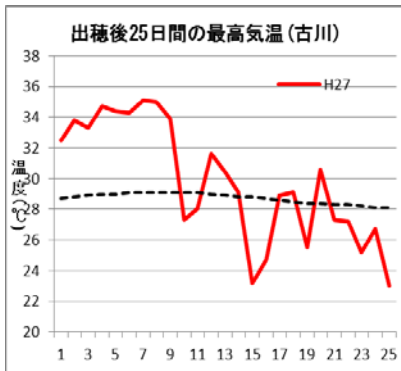
- ・斑点米カメムシ類の発生量が平年より多くなっている。(8月3日注意報発表)
- ・遅れている圃場や直播は「穂揃期」と「その7~10日後」の2回防除を徹底する。
- ・ホタルイが発生した水田で除草ができなかった場合は、1回目の薬剤散布を「出穂始から穂揃期」に早めることで、斑点米カメムシ類の密度を低下させ被害を軽減できる。
- ・2回目の防除以降も斑点米カメムシ類の発生があった場合は追加防除を実施する。



(2) 高温障害回避の水管理

- ・稲体の消耗による登熟不良や白未熟粒の発生等により品質低下が懸念される。
- ・出穂後高温時の水管理としては「昼間深水・夜間落水管理」を基本とする。
- ・用水確保が難しいところは「走水」等により土壌を常に湿潤状態に保つ。

【参考】平成27年産の例：出穂期7月29日，一等米比率83%（白未熟と充実度不足）



- ①登熟初期の最高気温が高いと、白未熟粒が多いとされている。
- ②夜間の最低気温が高いと消耗して充実が悪く、白未熟粒も増加する。

(3) 直播の状況

- ・移植に比較して出穂はやや遅いが、8月始めに既に出穂している圃場が見受けられる。
- ・葉色が濃い圃場が見受けられ、いもちやツトムシ、カメムシ等、適切な防除を実施する。

[石巻の例 7/30 現在]

草丈	m ² 茎数	主稈葉数 (葉)	葉色	幼穂長 (cm)
85.0	474.9	12.9	33.2	18.5

4 気象予報と対策（仙台管区気象台公表）

【1ヶ月予報】

- ・平均気温は、高い確率50%
- ・1週目は高い確率50%，2週目は、高い確率50%
- ・3～4週目は、平年並または高い確率ともに40%

【1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)】

【気温】	10	40	50
【降水量】	30	40	30
【日照時間】	40	30	30

1か月：8月4日（土）～9月3日（月）

1週目：8月4日（土）～8月10日（金）

2週目：8月11日（土）～8月17日（金）

3～4週目：8月18日（土）～8月31日（金）

◆週別気温経過の各階級の確率(%)

1週目	10	40	50
2週目	20	30	50
3～4週目	20	40	40

■ 低,少 ■ 並 ■ 高,多

高温に関する異常天候早期警戒情報（東北地方）8月6日：仙台管区気象台発表

警戒期間 8月13日頃からの約1週間

警戒事項 かなりの高温（7日平均地域平年差+2.4℃以上）